

## 平成 31 年度静岡市協働パイロット事業 企画提案書

団体名：特定非営利活動法人しずおか LGBTQ<sup>1</sup>

## 1 事業のタイトル

学校における性の多様性の啓発ポスターづくりと研修会

## 2 事業の概要 (市民ニーズや協働で取り組む意義を踏まえて記載してください。)

**[社会背景と学校における性の多様性の課題]**

昨今、性的マイノリティ(=LGBTQ)の人権課題は注目を集めている。国内における調査・研究結果<sup>1</sup>においても、性的マイノリティ当事者(以下、当事者)の課題として自殺念慮の高さがあきらかになっており、特に若年層において顕著である<sup>2</sup>。若年期は心身の発達段階としても非常に重要な時期であるため、文部科学省も若年層の当事者の自殺念慮の高さについて問題視し、2015年4月に同性愛や性同一性障害を含む性的マイノリティの子どもについて配慮を求める通知「性同一性障害に係る児童生徒に対するきめ細やかな対応の実施等について」を出した。しかし、当事者・非当事者の理解をどのように進めるか、という点について、多くの教員が方向性を見いだせず困惑している。なぜなら、教員養成課程段階や教員研修において、性の多様性をテーマにした内容はこれまでほとんど取り扱われてこなかったためである。現在、教育委員会などを中心に教員・臨床心理士(スクールカウンセラー)を対象にした研修も始まりつつある。一方で、児童生徒を対象にした性の多様性の啓発及び授業については、教員自身は必要性を感じているものの<sup>3</sup>、専門的知識に対する自信の無さより、ほとんど実施されていない。したがって、児童生徒にむけた啓発や授業に対応する事業が急務とされている。

静岡市では、2016年度の市議会から度々性的マイノリティに対する取り組みについて取上げられ、昨年度は教員向けeラーニング研修が試行的に開始されるなど、少しずつ動きが出ている。また、平成31年2月発表の市長施政方針演説<sup>4</sup>でも性の多様性について触れられており、その中で「理解の促進と共生のまちづくりを進める」と明言されたように、この分野は、これから具体的対応を加速させるべきであるという認識がなされている。

当法人においても一昨年からは現役教員からの問い合わせが増加しはじめ、授業づくりに直接役立つLGBT研修を求める要望を受けるようになった。また、当事者の子どもやそのご家族から連絡を受けることもあり、その聞き取り内容には、児童生徒および保護者においても学校内での性の多様性の啓発不足に不安を覚えている、という内容が含まれる。

以上のことから、この事業における市政と教育現場および当法人の視点に一致が認められたと考えた。

註) 1:「我が国における都会の若者の自殺未遂経験割合とその関連要因に関する研究」/2008(日高) 2:「LGBTの学校生活に関する実態調査」/2013(いのちリスペクト。ホワイトトリボンキャンペーン)、科学研究費助成事業(JSPS科研費)「性的マイノリティにつ

いての意識 2015 全国調査」/2016（「日本におけるクィアスタディーズの構築」研究グループ編、河口） 3：「教員 5979 人への LGBT 意識調査レポート」/平成 27 年度厚生労働省科学研究費補助金研究事業エイズ対策政策研究事業（代表研究者日高）4：静岡市ホームページ [www.city.shizuoka.jp/556\\_000073.html#h2\\_15](http://www.city.shizuoka.jp/556_000073.html#h2_15) /2019 年 2 月現在

※本事業提案は、静岡市が推進する理念である SDGs にも関連しており、第 3 期静岡市自殺対策行動計画で取り上げられている性的マイノリティへの支援の充実にも該当するものとする。

#### [事業概要]

##### ① 性の多様性に関する啓発ポスター事業

性の多様性に関する啓発ポスターを制作し、市内の小中学校および関連する施設に掲示する。また、次年度に向けてその効果を調査する

##### ② 教員向け e ラーニング研修事業

平成 30 年度 3 月に実施済みの教員向け e ラーニング研修の第二弾として、性の多様性の専門知識を拡充する内容で製作・実施する。

##### ③ 教員向け性の多様性の授業づくり研修（事前調査）

基礎的な知識を得た教員に対し、授業づくりに直接関連する研修を行う。今年度は教育センターの年間予定がすでに決定していることから、本事業は次年度に実施する計画とし、今年度は事前調査（アンケート調査、試験的な研修の実施）を実施する。

### 3 協働して事業を行う際、貴団体の担う役割と静岡市に担って欲しい役割

#### [団体の担う役割]

##### ① 性の多様性に関する啓発ポスター事業

静岡市との打ち合わせや意見交換会等の取りまとめ、制作業者との打ち合わせ、発注等、実務全般。掲示後の効果をアンケート調査し、集計する。

##### ② 教員向け e ラーニング研修事業

静岡市との打ち合わせ、研修内容（スライド）の製作、

##### ③ 教員向け性の多様性の授業づくり研修（事前調査）

静岡市教育センターで 7 月に実施予定の LGBT 研修の参加者に対して行うアンケート調査づくりおよび集計。その結果を基に、試験的に授業づくり研修を開催する。

#### [静岡市の役割]

##### ① 性の多様性に関する啓発ポスター事業

- ・男女参画多文化共生課

実施スケジュールの再確認および啓発内容（方向性）の打ち合わせ、ポスター案への意見交換会。

- ・教育委員会（生徒児童支援課）

実施スケジュールの再確認および啓発内容（方向性）の打ち合わせ、ポスター案への意見交換会。ポスター完成時の学校への配布および掲示の実施。アンケート調査への協力。

##### ② 教員向け e ラーニング研修事業

- ・教育委員会（教育センター）

実施スケジュールの再確認、研修(スライド)内容への意見交換会。研修の実施。

### ③ 教員向け性の多様性の授業づくり研修（事前調査）

- ・男女参画多文化共生課

授業づくり研修（試験的）の会場の確保

- ・教育委員会（教育センター）

静岡市教育センターで7月に実施予定のLGBT研修の参加者に対して、①アンケート調査を行うとともに②試験的な授業づくり研修の開催を告知し周知する。

上記を実施するにあたり、

①性の多様性に関する啓発ポスター事業②教員向けeラーニング研修事業については、有識者として「静岡大学学校における性の多様性研究会」に監修を依頼する。

③教員向け性の多様性の授業づくり研修（事前調査）については、教育センターで7月にLGBT研修を担当される「静岡大学教職センター松尾由希子准教授」に依頼し、内容の連続性を図る。

## 4 事業計画・実施スケジュール

### ① 性の多様性に関する啓発ポスター事業

7月 静岡市との打ち合わせ、ポスター制作会社との打ち合わせ～ポスター案の提示

8月 静岡市との意見交換会、ポスターの発注（納品）

9月 各学校への配布と掲示

2月 アンケート調査の実施、集計

### ② 教員向けeラーニング研修事業

7月 静岡市との打ち合わせ

8月 研修内容（スライド）の製作

9月 静岡市との意見交換会

未定 教育センターによる研修実施（年度内実施を予定）

### ③ 教員向け性の多様性の授業づくり研修（事前調査）

6月 7月のアンケート調査の作成、授業づくり研修（試験的）の案内チラシ作成。

7月 アンケート調査実施、集計

12月 授業づくり研修（試験的）実施および参加者へのアンケート調査

1月 アンケート調査の集計

※ 協働先との共有は、年度末の本事業全体の報告書（アンケート調査結果含む）をもって行う。

## 5 実施体制及び主要スタッフの経歴

### [実施体制]

- ・ 主担当：細川知子（NPO 法人しずおか LGBTQ+ 代表理事）
- ・ 補佐担当：青嶋頼人（NPO 法人しずおか LGBTQ+ 庶務担当）
- ・ 運営スタッフ：静岡大学学生他、協力者
- ・ 協力：静岡大学学校における性の多様性研究会

### [主要スタッフ略歴および法人の概要]

2013 年に市民団体「LGBT しずおか研究会」を主宰として設立。活動 6 年目で特定非営利活動法人となり、名称を「しずおか LGBTQ+（プラス）」に改め、代表理事となる。この活動をはじめると同時に、2011 年から静岡県立大学短期大学部社会福祉学科で社会福祉（ケア）を専門的に学び、2013 年には静岡大学人文学部社会学科で社会学（社会構造）を修得した。

市民団体設立当初から自治体向け研修の実績があり、静岡市では職員研修や男女共同参画行動計画見直しに関する性の多様性の講師を務め、静岡市校長会分科会での講師経験もある。今年度は静岡県人権啓発センター主催の人権啓発指導者養成講座において性の多様性の講師も務める。

これまでも地域団体として、あざれあ（静岡県女性会館）助成金事業や静岡大学との協働事業も行った実績があり、今年度は静岡市から委託を受け「性的少数者の居場所づくり事業」を担当している。

## 6 特にアピールしたいこと（専門性、独自性、先駆性、実績、2 年間継続することの効果など）

### (1) 専門性

2013 年に市民団体 LGBT しずおか研究会を発足以来、性的マイノリティやその周辺者への居場所（相談先）として地域に密着した活動を行ってきた。当法人では当事者の声を基に事業展開できるニーズの専門性がある。また、当法人は当事者団体とも支援団体とも呼ばない活動を続けており、関わるメンバーやスタッフの半数がアライ（理解者、仲間）のため、柔軟な価値観で活動ができ、視野の広さが確保されている。

本事業では全体を通して、子ども期の発達や教育への専門的な視点が欠かせない。この部分については、「3 協働して事業を行う際、貴団体の担う役割と静岡市に担って欲しい役割」内で示した通り、学術的視点で監修を受けることを前提とし、児童生徒、教員への正しい知識の提供をあらかじめ担保した。

### (2) 独自性および先駆性

性の多様性の啓発ポスターについて、全国的にも教育委員会と地域団体が協働事業で行った先例の情報はなく、地域と教育が一緒に取り組むという計画に独自性と先駆性がある。また、e ラーニングや授業づくり研修についても、学術的な観点に加えて当事者の声が反映する「活きた研修」を目指すことができる。

### (3) 実績

「5 実施体制及び主要スタッフの経歴」の中で、法人の概略として示した。その他、助成金事業や協

働事業については、参考資料としてチラシを添付する。

#### (4) 2年間継続することの効果

ポスター掲示と教員向け研修が同時に進むことで一定の効果が期待できると考え企画している。但し、先駆性の高い事業のため、単年でその効果を検証することが難しい。2年継続して実施することにより1年目の効果を活かすことが可能となり、独自性に富んだ「静岡モデル」が見えてくることを期待している。今後何年にも渡って展開できる基礎となる事業を、2年をかけて構築したい。

#### (5) 協働性のメリット

行政（静岡市）、教育（教育委員会）、地域（当事者）団体の3者が協働することにより、以下のとおり、これまで個々に抱えていた課題を解決することができる。

##### <行政（静岡市）>

- ・市長による政策方針や男女行動参画行動計画でも示されているように、新しいジェンダー政策に性的マイノリティが含まれている。その方針に基づき、市民への教育や啓発をすすめたい。
- ・教育委員会や地域（当事者）団体が動くことで、政策を実体的にすすめ、市民への啓発も行なえる。

##### <教育委員会>

- ・現場の教員が困っていることについて、地域（当事者）団体からその情報を得られる。
- ・地域（当事者）団体の経験やネットワークを生かして、教員や子どもに向けた啓発事業を展開できる。
- ・地域（当事者）団体の経験やネットワークを生かして、より実践的な教員に授業づくり研修を行う。

##### <地域（当事者）団体>

- ・当事者のニーズを把握している。
- ・教員からの相談、授業づくりや子どもへの対応へのアドバイスを求められる。
- ・これまで直接的に介入できなかった場面にも、協働による啓発や研修を実施することにより、その専門性を発揮できる。